

「民生委員・児童委員アンケート」の調査結果

1. 調査の概要

高齢者や子育て世代等の生活実態及び外出時の困りごと・問題点等、市民の「生の声」を把握するため、民生委員・児童委員へのアンケート調査を実施した。

項目	概要
調査対象	市内各地区の民生委員・児童委員 172名
調査時期	発送：令和3年5月20日 回答期日：令和3年6月9日
調査方法	郵送配布及び郵送回収
調査内容	・担当区域の実態 ・担当区域の高齢者の移動実態 ・担当区域の子育て世代の移動実態
配布・回収	・配布数：172枚 ・回収数：141票 ・有効回収率：82.0%

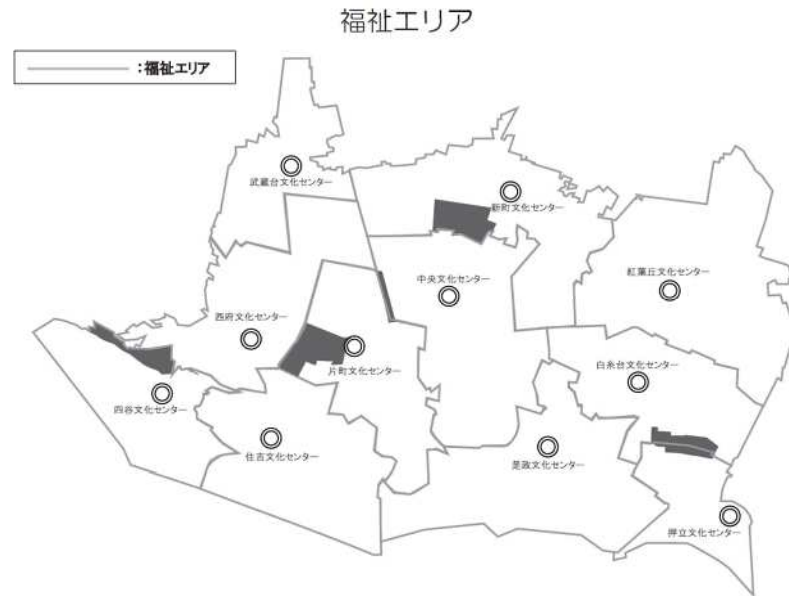
2. 担当区域の実態について

2-1 回答者の担当区域

担当区域は町別にみると、「白糸台」と「是政」が最も多い。文化センター圏域ごとに整理すると、「片町福祉エリア」が13.5%（19人）と最も多く、「中央福祉エリア」が12.8%（18人）が続いている。なお、押立福祉エリアは回答者数が2名であるため、クロス集計・分析時には留意が必要である。

【表1】 回答者の担当区域（地区別）

文化センター圏域	回答者数	割合
中央福祉エリア	18	12.8%
白糸台福祉エリア	14	9.9%
西府福祉エリア	12	8.5%
武蔵台福祉エリア	8	5.7%
新町福祉エリア	15	10.6%
住吉福祉エリア	8	5.7%
是政福祉エリア	14	9.9%
紅葉丘福祉エリア	13	9.2%
押立福祉エリア	2	1.4%
四谷福祉エリア	13	9.2%
片町福祉エリア	19	13.5%
無回答・不明	5	3.5%
合計	141	100.0%



【図1】 文化センター圏域

2-2 担当区域内住民の交通手段

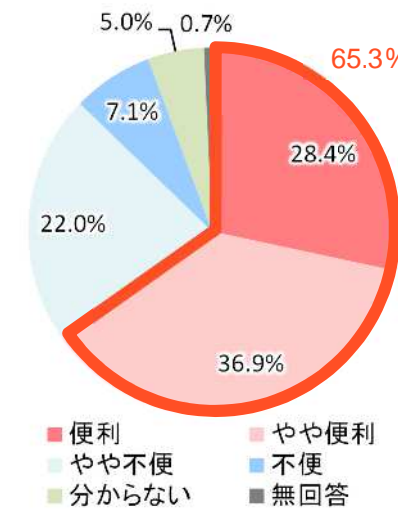
担当区域の交通手段では、「ちゅうバス」が64.5%（91人）と最も高く、次いで「路線バス」が55.3%（78人）と続いている。

【表2】 担当区域の交通手段（地区別）

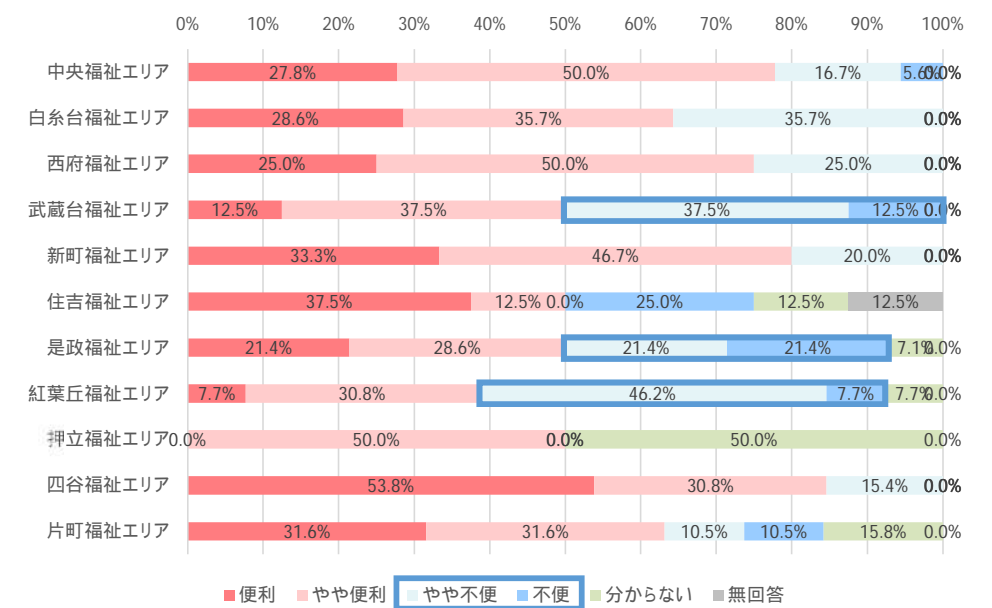
	鉄道	路線バス	ちゅうバス	他市コミュニティバス	タクシー	あまり利用しない	分からない
中央福祉エリア	22.2%	66.7%	50.0%	0.0%	22.2%	38.9%	5.6%
白糸台福祉エリア	71.4%	21.4%	78.6%	0.0%	35.7%	7.1%	7.1%
西府福祉エリア	58.3%	100.0%	50.0%	8.3%	41.7%	0.0%	0.0%
武蔵台福祉エリア	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%	62.5%	25.0%	0.0%
新町福祉エリア	20.0%	100.0%	40.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
住吉福祉エリア	25.0%	0.0%	62.5%	0.0%	37.5%	37.5%	0.0%
是政福祉エリア	78.6%	21.4%	85.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
紅葉丘福祉エリア	46.2%	53.8%	92.3%	0.0%	46.2%	7.7%	7.7%
押立福祉エリア	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
四谷福祉エリア	92.3%	46.2%	61.5%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%
片町福祉エリア	36.8%	47.4%	57.9%	0.0%	36.8%	26.3%	0.0%
無回答・不明	60.0%	100.0%	100.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
合計	48.9%	55.3%	64.5%	0.7%	34.0%	14.9%	2.1%

2-3 担当区域内住民が感じている公共交通の利便性

「やや便利」が36.9%（52人）と最も高く、次いで「便利」が28.4%（40人）と続いており、肯定的な意見が約65%を占めている。ただし、一部のエリアにおいては「やや不便」「不便」の割合が高い。



【図2】 担当区域の公共交通の利便性



【図3】 担当区域の公共交通の利便性（地区別）

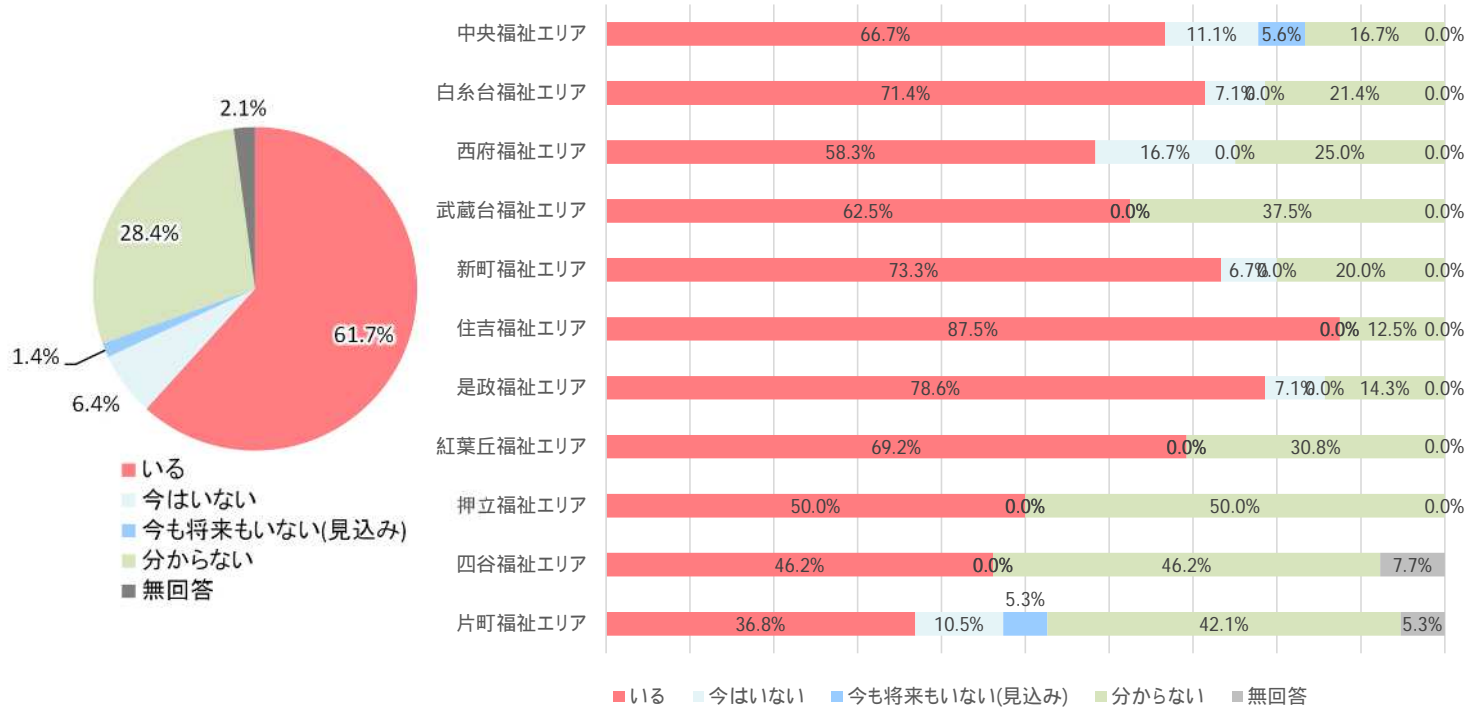
2-4 担当区域内の交通弱者の状況

担当区域の交通弱者（車や自転車を運転できない方など、外出をするにあたり制約がある方）は、「いる」が61.7%(87人)、「今はいない」が6.4%(9人)である。

地区別にみると、「住吉福祉エリア」「是政福祉エリア」「新町福祉エリア」の順で「いる」の回答が多い。

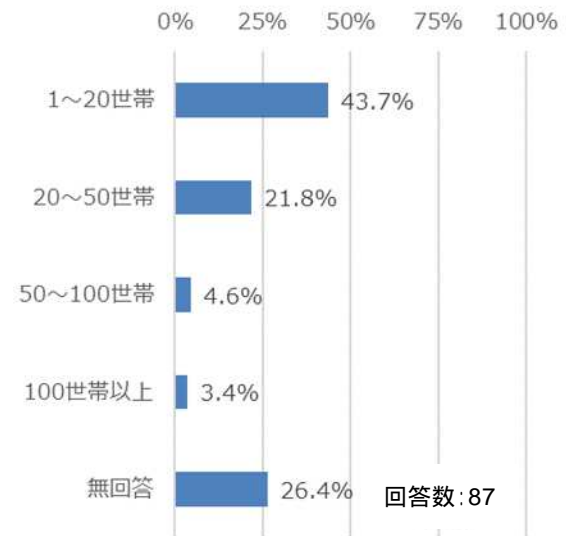
担当区域の交通弱者の世帯数は、「1～20」が43.7%(38人)と最も高く、次いで「20～50」が21.8%(19人)と続いている。

担当区域の交通弱者の人数では、「1～20」が39.1%(34人)と最も高く、次いで「20～50」が21.8%(19人)と続いている。

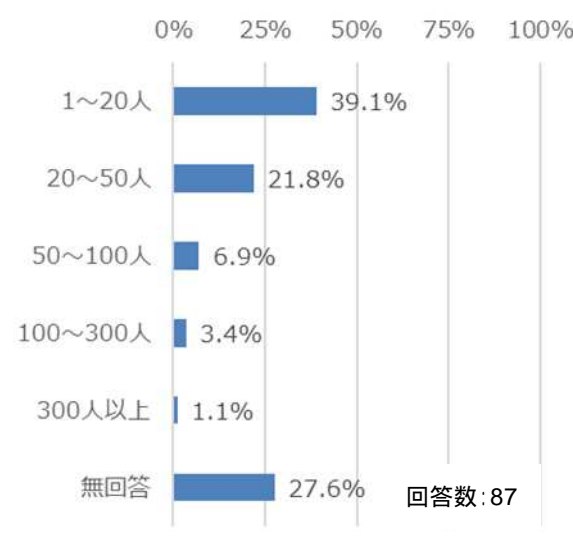


【図4】 担当区域の交通弱者の有無

【図5】 担当区域の交通弱者の有無 (地区別)



【図6】 担当区域の交通弱者の世帯数



【図7】 担当区域の交通弱者の人数

担当区域の交通弱者の特徴では、「高齢のため運転を控えている、または運転免許証を返納した方」が88.5%(77人)と最も高く、次いで「身体の不自由な方」が78.2%(68人)と続いている。

地区別にみると、「住吉福祉エリア」「是政福祉エリア」「紅葉丘福祉エリア」「四谷福祉エリア」では「高齢のため運転を控えている、または運転免許証を返納した方」との回答が比較的多い。一方、「新町福祉エリア」では回答数が比較的小さい。

【表3】 担当区域の交通弱者の特徴 (地区別)

	高齢のため運転を控えている、または運転免許証を返納した方	子育て中の方	18歳未満の未成年(児童・生徒)	身体の不自由な方	その他	無回答
中央福祉エリア	83.3%	0.0%	8.3%	58.3%	8.3%	0.0%
白糸台福祉エリア	80.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
西府福祉エリア	85.7%	14.3%	28.6%	71.4%	28.6%	0.0%
武蔵台福祉エリア	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%	20.0%	0.0%
新町福祉エリア	72.7%	18.2%	0.0%	63.6%	27.3%	9.1%
住吉福祉エリア	100.0%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%
是政福祉エリア	100.0%	18.2%	9.1%	90.9%	9.1%	0.0%
紅葉丘福祉エリア	100.0%	11.1%	0.0%	88.9%	33.3%	0.0%
押立福祉エリア	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
四谷福祉エリア	100.0%	16.7%	0.0%	100.0%	16.7%	0.0%
片町福祉エリア	85.7%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
無回答・不明	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
合計	88.5%	9.2%	5.7%	78.2%	17.2%	1.1%

担当区域内に交通弱者が「いる」と回答した人を集計

担当区域の交通弱者の交通手段では、「徒歩」が71.3%(62人)と最も高く、次いで「ちゅうバス」が54.0%(47人)と続いている。

地区別にみると、「白糸台福祉エリア」「西府福祉エリア」「住吉福祉エリア」「是政福祉エリア」「紅葉丘福祉エリア」ではちゅうバスを利用する交通弱者が多い。

【表4】 担当区域の交通弱者の交通手段 (地区別)

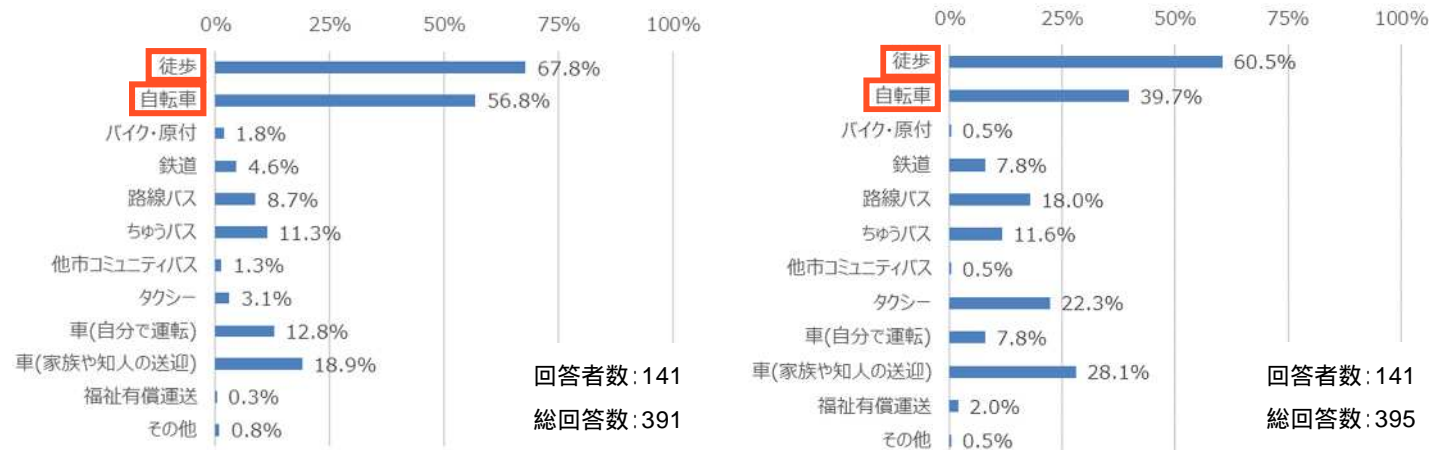
	徒歩	自転車	バイク・原付	鉄道	路線バス	ちゅうバス	他市コミュニティバス	タクシー	車(自分で運転)	車(家族や知人の送迎)	福祉有償運送
中央福祉エリア	66.7%	41.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	41.7%	0.0%	33.3%	0.0%
白糸台福祉エリア	80.0%	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	70.0%	0.0%	50.0%	10.0%	50.0%	0.0%
西府福祉エリア	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	71.4%	57.1%	0.0%	57.1%	0.0%	14.3%	14.3%
武蔵台福祉エリア	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	80.0%	0.0%	60.0%	20.0%
新町福祉エリア	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%	63.6%	27.3%	0.0%	36.4%	0.0%	27.3%	0.0%
住吉福祉エリア	85.7%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%
是政福祉エリア	54.5%	18.2%	0.0%	36.4%	9.1%	72.7%	0.0%	45.5%	0.0%	54.5%	0.0%
紅葉丘福祉エリア	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	88.9%	0.0%	33.3%	0.0%	44.4%	0.0%
押立福祉エリア	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
四谷福祉エリア	83.3%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%
片町福祉エリア	85.7%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%
無回答・不明	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	71.3%	19.5%	0.0%	16.1%	26.4%	54.0%	0.0%	42.5%	1.1%	41.4%	3.4%

担当区域内に交通弱者が「いる」と回答した人を集計

3. 担当区域の高齢者の移動実態について

3-1 高齢者の交通手段

担当区域の高齢者の店舗までの移動手段では、「徒歩」が67.8%と最も高く、次いで「自転車」が56.8%と続いている。
 担当区域の高齢者の病院までの移動手段では、「徒歩」が60.5%と最も高く、次いで「自転車」が39.7%と続いている。



【図8】 担当区域の高齢者の移動手段（買物）

【図9】 担当区域の高齢者の移動手段（通院）

3-2 高齢者の移動に関する悩みごと

担当区域の高齢者の移動の悩みでは、「新型コロナウイルスの影響で外出できない」が55.3%(78人)と最も高く、次いで「送迎などで頼る人が近所にいない」が31.9%(45人)と続いている。
 地区別にみると、「西府福祉エリア」「是政福祉エリア」「住吉福祉エリア」では、「送迎などで頼る人が近所にいない」の回答割合が高く、かつ「移動先までのバス本数が少ない」の回答割合が高い状況である。

【表5】 担当区域の高齢者の移動の悩み（地区別）

	近くで食料や日用品を買えない	近くに病院がない	銀行・郵便局等が遠く、預貯金の出し入れが不便	駅・バス停までの移動が大変	移動先までのバスがない	移動先までのバス本数が少ない	タクシー料金が安い	タクシーを呼びにくい	ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを十分にできない	送迎などで頼る人が近所にいない	新型コロナウイルスの影響で外出できない	特に何も聞いていない
中央福祉エリア	22.2%	5.6%	5.6%	27.8%	5.6%	22.2%	22.2%	5.6%	11.1%	22.2%	50.0%	22.2%
白糸台福祉エリア	28.6%	7.1%	21.4%	35.7%	7.1%	21.4%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	57.1%	21.4%
西府福祉エリア	25.0%	25.0%	25.0%	33.3%	25.0%	41.7%	33.3%	16.7%	41.7%	58.3%	66.7%	25.0%
武蔵台福祉エリア	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	50.0%	37.5%
新町福祉エリア	13.3%	20.0%	20.0%	33.3%	26.7%	13.3%	33.3%	13.3%	12.5%	40.0%	53.3%	20.0%
住吉福祉エリア	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	75.0%	25.0%
是政福祉エリア	14.3%	14.3%	35.7%	35.7%	28.6%	64.3%	50.0%	21.4%	35.7%	50.0%	78.6%	0.0%
紅葉丘福祉エリア	38.5%	23.1%	30.8%	30.8%	15.4%	53.8%	38.5%	0.0%	15.4%	30.8%	61.5%	0.0%
押立福祉エリア	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%
四谷福祉エリア	15.4%	7.7%	7.7%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	15.4%	46.2%	23.1%
片町福祉エリア	21.1%	21.1%	15.8%	10.5%	21.1%	26.3%	10.5%	0.0%	15.8%	10.5%	42.1%	31.6%
無回答・不明	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
合計	23.4%	14.9%	17.0%	27.7%	15.6%	30.5%	24.1%	8.5%	19.1%	31.9%	55.3%	20.6%

3-3 高齢者の移動に関する困りごとや要望（自由回答）

高齢者の移動に関する困りごとは、次のとおりとなっている。

<主な意見（原文）>

買物や通院などの移動手段で困っていること

- 足腰が弱り、バス停へ行くまでが大変。
- 車や自転車に乗れなくなると駅やバス停までがすごく遠い。
- 買い物・通院を手伝ってくれる人がいないと大変。(本人の体力、健康状態によるが) 徒歩圏内でも荷物運びや待ち時間が大変。
- 免許がなく、自転車にも乗れない高齢者は、徒歩で買い物に出かけるが、帰宅時は荷物が重くなり困難である。(買うものを控えてしまう)
- タクシーを使うにしてもお金がかかる。
- 買い物より通院に不便を感じている方が多い。
- 多摩総合医療センターに直通で行けるようになったら便利。
- コロナ禍で買物回数を減らしているためか買う品が増え、大荷物になりおまけに雨でラッシュの時間など大変です。
- 四谷は、中河原駅からすぐの地域なので、京王線に乗るのも徒歩で行ける。近くにスーパーマーケット、コンビニ、ドラッグストア、内科クリニック、整形外科クリニック、薬局等、全て徒歩圏内で便利。
- タクシー券や買い物代行などがあればより便利。 など

路線バスを利用する場合で困っていることや要望

- 1つのバス停に1つでも座れるところがあつたほうが有難い。
- 低床バスの配備を希望。明星学園前のバス停が学生で混雑している。
- 運行時間が少なく料金が高い
- バス停まで徒歩で行くのが大変。
- 駅へ行くバス停がもっと近くに欲しい。 など

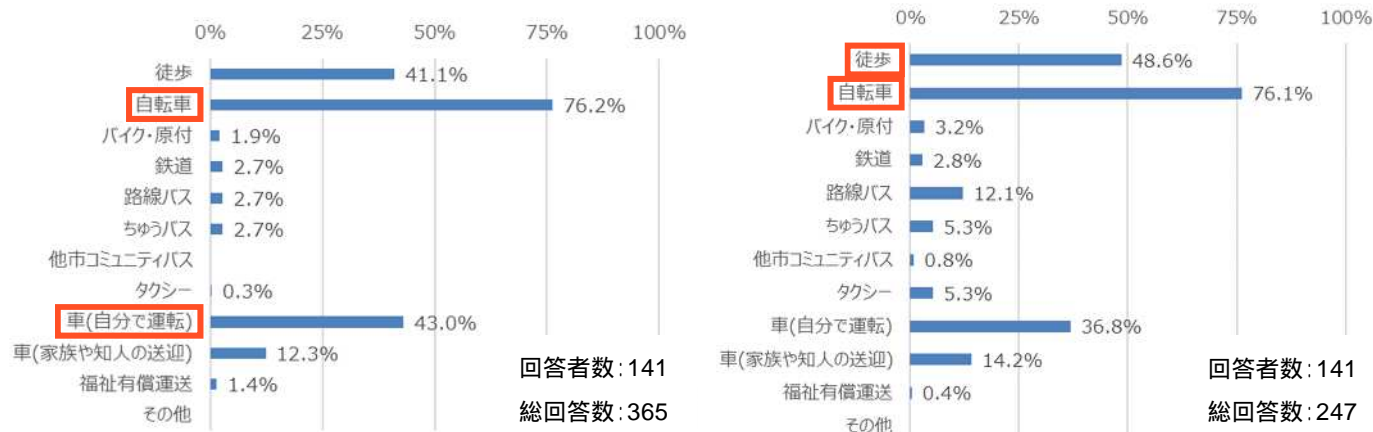
ちゅうバスを利用する場合で困っていることや要望

- 本数が少ない
- 府中駅までちゅうバスを利用するときに時間がかかりすぎる。
- 自宅から離れている方で、足の悪い人は大変だと思う。(特に雨の時)ちゅうバスを利用するとき、夕方は混むのでコロナに感染しないか心配していた。
- 西府エリアにもちゅうバスを運行してほしい。
- 是政方面は大きいバスだが、乗る人も多く、すぐに満員になる(駅のバス停も長い列になる)1時間にもう1本増え、3本あると良い。終バスが早い。あと2本は欲しい。
- 運転手さんはどの方もとても親切で良い感じです。 など

4 . 担当区域の子育て世代の移動実態について

4-1 子育て世代の移動手段

担当区域の子育て世代の店舗までの移動では、「自転車」が76.2%と最も高く、次いで「車(自分で運転)」が43.0%と続いている。
 担当区域の子育て世代の病院までの移動手段では、「自転車」が76.1%と最も高く、次いで「徒歩」が48.6%と続いている。



【図10】 担当区域の子育て世代の移動手段 (買物)

【図11】 担当区域の子育て世代の移動手段 (通院)

4-2 子育て世代の移動に関する悩みごと

担当区域の子育て世代の移動の悩みでは、「新型コロナウイルスの影響で外出できない」が43.3%(61人)と最も高く、次いで「送迎などで頼る人が近所にいない」が22.7%(32人)と続いている。

【表6】 担当区域の子育て世代の移動の悩み (地区別)

	近くで食料や日用品を買えない	近くに病院がない	銀行・郵便局等が遠く、預貯金の出し入れが不便	駅・バス停までの移動が大変	移動先までのバスがない	移動先までのバス本数が少ない	タクシー料金が安い	タクシーを呼びにくい	ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを十分にできない	送迎などで頼る人が近所にいない	新型コロナウイルスの影響で外出できない	特に何も聞いていない
中央福祉エリア	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	55.6%	5.6%
白糸台福祉エリア	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	14.3%	21.4%	28.6%	50.0%	14.3%
西府福祉エリア	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	8.3%	16.7%	41.7%	33.3%	16.7%
武蔵台福祉エリア	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	62.5%	0.0%
新町福祉エリア	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	13.3%	46.7%	20.0%
住吉福祉エリア	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%
是政福祉エリア	21.4%	7.1%	35.7%	28.6%	35.7%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	50.0%	28.6%	0.0%
紅葉丘福祉エリア	23.1%	15.4%	7.7%	23.1%	38.5%	15.4%	0.0%	15.4%	23.1%	15.4%	38.5%	23.1%
押立福祉エリア	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
四谷福祉エリア	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	46.2%	23.1%
片町福祉エリア	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%	47.4%	21.1%
無回答・不明	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
合計	10.6%	7.1%	7.1%	9.9%	18.4%	12.1%	1.4%	9.2%	14.9%	22.7%	43.3%	14.9%

4-3 子育て世代の移動に関する困りごとや要望 (自由記述)

子育て世代の移動に関する困りごとは、次のとおりとなっている。

<主な意見(原文)>

買物や通院などの移動手段で困っていること

- 自転車で外出することがほとんどなので雨が降ると困る。
- 車の免許がない方達は雨の日の移動で困っています。
- 子ども連れなので、雨の日など自転車が使えない時など、買い物に行きづらい。駅方面以外に行く路線バスがない。
- 子どもを連れて買い物に行くのが大変、帰りの荷物が重い。
- 店に近い駐輪場の収容台数の不足(特にけやき並木通り)
- 自転車置き場が少ない。 など

路線バスを利用する場合で困っていることや要望

- 買い物のとき、帰りの荷物を置く場所があるといい。
- 運行本数が少ない。行きたい場所に行くバスが運行されていない。
- 乗り場まで行かれない。乗り場に屋根やベンチがない。
- ベビーカー等と共に乗車しにくい。
- 雨の日のバスが遅れたり混む。
- 本数が少なくバスの時間に合わせると不便なことが多い。 など

ちゅうバスを利用する場合で困っていることや要望

- 府中駅までの路線バスがないのでちゅうバスの本数を増やしてほしい。本数が少ないので雨の日はすごく混む。
- すぐに満員になるので、子供を連れていると困ることが多い(畳んだベビーカーや荷物と子供など)。
- 座席が少なく、子どもが座れないと抱っこが重い。
- これからの時代、ますますちゅうバスは必要不可欠なツールになると思うので、より充実した内容で発展し市民のためになるといい。
- 時間になっても来ないので、アプリ等で遅れがわかるようにしてほしい。
- 子どもも100円は高い。 など